



校長室 だより

平成28年9月23日

尼崎市立常陽中学校

校長 小谷 豪郎 No.7

修学旅行特集



5月から延期になっていた修学旅行にいよいよ出発です朝6時30分集合で少々寝不足気味でしょうか・・・？

でも気合いを入れて出発式を始めます。



事前の準備・修学旅行中のレクリエーションなど、夏休みから準備を進めてきた今回の実行委員のメンバーから、スローガン等が発表されました。



生まれて初めて新幹線に乗る人もいます、楽しみです・・・が新神戸駅の停車時間が1分間しかありません、みんな荷物をしっかりもって、用意は良いか！！



無事に全員1分間の停車時間で新幹線に乗ることができました。これで一安心、小倉まで、楽しいおしゃべりと、おやつとお弁当の時間が待っています。



小倉駅からバスに乗り換え目的地、豊後高田へ到着しました。私たちが到着するまでは、雨が降っていたようですが、今はポツポツ傘も要らない程度です。



入村式では、お世話になる農家のお父さんお母さんとの対面ですさて、どんなご家庭にお世話になるのかな、優しく、厳しそう、怖そう、いろんな感想が頭の中を巡っています



各家庭が車で迎えに来ているので、三々五々それぞれの農家へ分かれていきます。初めての土地で行き先も解らず、少々不安そうな表情が見られます。



さて、誰がどこに乗るのか座る席もなかなか決まりません。助手席に乗るのは恥ずかしくてなかなかですが、頑張るって！！行ってらっしゃーい (^_^)/



さて、農家ではそれぞれのお宅で様々な活動が待っていますこの班は、大分県の名産品「落花生」の収穫です。皆さん、落花生が土の中になっているって知っていましたか？木の実のように、ぶら下がっているようなイメージを持っていませんでしたか、これも体験ならではの発見です。



普段は自分の家でお手伝いをしているのでしょうか、みんなでお昼ご飯の用意、リンゴの皮むきですが・・・見ていてドキドキ。(^_^)



ブロッコリーの苗の植え付け作業中。この家の方は、昔常陽中の校区のプルミエールに住んで居られた、橋本さんという方でした。とてもなつかしく嬉しかったと喜ばれていました。



みんなでお昼ご飯の準備中ですお揚げは破れなかったのかな？上手にいなり寿司を作り、後はちらし寿司の錦糸卵の準備中でした。



短いけれど内容の濃い民泊体験を終え、退村式の会場へ集まってきました。お土産と沢山の思い出を胸にいよいよお別れの時を迎えます。



お世話になったお母さんとの別れが辛く、お互い涙目になりながらハグしてお別れしました。お母さんはバスへ乗るまで優しく見届けてくれました。今回の体験で、日頃みんなを支えてくれている保護者の方々への感謝の気持ちを気づかせてくれたのではないのでしょうか。



誰とは言いませんが、編み笠スタイルがとても似合っています。

気のせいか、どこかの庭にこんな置物があったような？



いよいよ柳川名物の川下りです。

いきなり頭をかすめるような橋をくぐってスタートです



前日に柳川出身のオリンピック選手、200mバタフライ銀メダルの坂井聖人選手の水上市場パレードがあったそうです。



城下町の内堀を巡るので、沢山の橋をくぐらなくてはなりません。船頭さんの歌もあり楽しい時間でした。



木々のトンネルをくぐり、木漏れ日の中では川風が心地よく、ゆったりとした時間を過ごすことができました。



名物の「柳川下り」の後は名物の『鰻のせいり蒸し』

鰻が食べられない生徒が、2〜3人いたようです。



退村式の後話を聞くと農家の方々のおもてなしで、どここの家庭も朝から豪華な食事でもみんなお腹いっぱい、少々不安がありましたが・・・



バス移動と柳川下りで、体を動かしていなかったため、お昼ご飯が食べられるかどうか心配でしたが、やっぱり皆元気です。

女子には少々ご飯の量が多いのではないかと心配しましたが、まったく関係有りませんでした。(^)



ここが昼食の場所、旧柳川藩主立花家の別邸、江戸時代以来400年の歴史があり、明治の時代に藩主から伯爵となり洋館を新築し、江戸時代からの武家屋敷との併設の現在の形になったそうです。

素晴らしい庭とそこに咲く美しい花々から、「御花畠」と呼ばれていたそうです。

そして、時代が流れても、柳川の人々から愛され続け、いつしか親しみを込めて、『御花』と呼ばれるようになったそうです。

戦後、伯爵制度も無くなり立花家の方々が、ここを料亭・旅館として開放されたそうです。

御花を後に、バスでJR博多駅に向かい新幹線で一路学校へ向けての帰路につきます。

最後に新神戸で行きと同じ、停車時間1分間で大きな荷物とお土産を持って大急ぎで新幹線を降りました。

終始予定通りに進行することができ、生徒たちも行く先々で規律有る行動ができ、沢山の思い出と共に素晴らしい修学旅行になりました。

このことを通して、残り半年になった中学校生活をさらに充実したものになるよう頑張ってください。

そして、素晴らしい卒業式と君たちの夢を叶える新しい道が開けていくことを願っています。

修学旅行番外編



生徒がお世話になったお宅のすぐ裏手が、日本の夕日百選に選ばれたという絶景ポイントでしたが、あいにく曇りで夕日は見えませんでした。

また、最近では若い人達に「恋が叶う散歩道」と言う事から『恋叶ロード』として人気のデートコースになってきている、ということでした。



先生たちが宿泊した民宿はお寺の宿坊のような位置づけで、隣に九州で最古の木造建築で、1200年の歴史がある富貴寺がありました。

平安時代の建築物で、日本の3大阿彌陀堂である宇治の平等院鳳凰堂、平泉の中尊寺金色堂と肩を並べる平安時代の建築物富貴寺大堂（阿彌陀堂）は、国宝に指定されています。